

名古屋市教育委員会臨時会

令和 2 年 7 月 22 日

午後 2 時 00 分

正庁

議 事

日程 1

令和 3 年度使用教科用図書の採択について

(中学校用のうち、理科、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野、家庭分野）、英語)

出席者

鈴木 誠 二 教育長

小 栗 成 男 委 員

船 津 静 代 委 員

小 嶋 雅 代 委 員

西 淵 茂 男 委 員

鎌 田 敏 行 委 員

教育次長始め、事務局員 14 名 ※傍聴者 31 名

(鈴木教育長)

それではただ今から教育委員会臨時会を開催いたします。

本日は多数の傍聴申し込みが見込まれたため、傍聴人の定員を教育委員会傍聴規則に定める 10 人から 50 人に拡大して受け入れておりますのでご理解のほどお願いいたします。

次に、傍聴の方も含め、ここにおられる皆様をお願いいたします。日程第 1 の令和 3 年度使用教科用図書の採択に関しましては、愛知県の指導を受け、採択結果は 8 月 31 日まで非公開としております。また、採択などに関わる会議録、資料等につきましても、同様の取り扱いとなりますので、その旨ご理解の上、本日知り得た内容につきましては、ご配慮いただきますよう、お願いいたします。

(鈴木教育長)

ではこれより、日程第 1「令和 3 年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。

本日は、令和３年度に使用する中学校用教科用図書のうち、「理科」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭（技術分野、家庭分野）」、「英語」の採択審議を行います。

（鈴木教育長）

では、はじめに、「理科」の採択審議を行いますので、事務局の説明をお願いします。

（柴田指導主事）

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてあります。その理科のページをご覧ください。理科の教科書は、「東京書籍」、「大日本図書」、「学校図書」、「教育出版」、「啓林館」の５者から発行され、その全てについて調査研究をいたしました。資料②調査専門委員会報告書をご覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆すべきものについて報告させていただきます。

観点１「学習指導要領との関連」について、「大日本図書」は、３年３６ページのように、リンゴの落下や斜面を下るそりなど、身近な事物現象から問題を見付けて探究が進められるように編集されています。「学校図書」は、３年１７ページのように、話し合いの場面を多く取り入れ、合意形成を図りながら、探究に取り組めるように編集されています。

観点２「「名古屋市教育振興基本計画」との関連」について、「大日本図書」は、３年７６ページ、単元末の「探究活動」や、７７ページの「サイエンス プレス」のように、一人一人の進度や能力、関心に応じて学習することができるように工夫されています。「学校図書」は、３年７１ページの「サイエンスカフェ」や、次のページの単元末の「学び続ける理科マスター」のように、自ら学習を振り返ったりつなげたりできるように工夫されています。「啓林館」は、３年２０７ページの「深めるラボ」や、２４６ページの単元末の「みんなで探Ｑクラブ」のように、個に応じて学習することができるように工夫されています。

観点３（１）「内容の選択」について、「東京書籍」は、２年１６ページ「レッツ スタート！」で、ホットケーキがふっくらとする原因について考える場面を紹介するなど、導入で身近な事象について考えることができる場面を設け、目的意識をもって観察・実験に取り組み、科学的に探究する力が身に付けられるように内容が選択されています。また、「大日本図書」は、２年６・７ページで花火大会の様子を大きく掲載するなど、単元や章の導入で身近な事象をインパクトある写真で紹介し、問題意識を高めた上で、探究的な活動を進められる内容が豊富に選択されています。また、「教育出版」は、２年６４ページの写真で、塩酸に石灰石を入れると気体が発生して質量が小さくなっていく様子を時系列に紹介するなど、導入で写真を効果的に用いながら興味や関心を高めた上で課題を設定し、目的意識をもって観察・実験に取り組める内容が選択されています。

観点３（２）「内容の程度」について、「大日本図書」は、２年、１５４ページのように、読解力問題も設けられ、学んだことを活用して考えたり表現したりできるように配慮されてい

ます。

また、「啓林館」は、2 年、290・291 ページのように、学年の最後に「学年末総合問題」を設け、単元を総合的に捉える力を育成できるように配慮されています。

観点 4「表記・表現及び使用上の便宜等」については、「東京書籍」は、2 年 39 ページのように、観察・実験に入る前に、安全面に関する内容を目立つマークと具体的な文章で示すことにより、安全面に配慮すべきことがわかりやすく伝わるように工夫されています。

報告用紙の 2 枚目をご覧ください。

事項 1「体験的な学習活動が適切に取り入れられているか」について、「東京書籍」は、3 年 30 ページのように、導入に「レッツスタート」として、生徒の主体性を高める問いに重点を置き、次のページのように観察・実験をステップごとに進められるようにしています。また、さらに次のページにある「どこでも科学」のように、手軽な物作りを通して学習内容を体験できる活動が効果的に取り入れられています。また、「大日本図書」は、3 年 203 ページのように、必要なものや手順、コツを絵などを使って分かりやすくまとめるなど、観察実験を主体的に取り組めるように方法が分かりやすく示されています。また、207 ページの「やってみよう」のように、体験的な学習内容を身につける活動が効果的に数多く取り入れられています。

事項 2「科学技術と日常生活や社会との関連が図られているか」について、「教育出版」では、1 年 110 ページの「ハローサイエンス」のように、日常生活における科学技術の利用が取り入れられており、学習内容との関連を実感できるようになっています。

事項 3「コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用が図られているか」について、「学校図書」は、3 年 127 ページのように、QR コードによって、各章のまとめや基礎問題等にリンクできるようになっています。また、「啓林館」は、2 年 141 ページ「科学にアクセス」のように、学習の参考となる動画コンテンツの情報が QR コードで示されており、生徒が主体的に学習していけるように工夫されています。

なお、理科の教科書に対しまして、「市民の声」として 7 通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。以上です。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「理科」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(西淵委員)

ご説明ありがとうございました。

色々比べて見させていただきまして、やっぱりこの間も少し話題になったんですけども、読解力等の問題でリーディングリテラシーというようなことで、国語の読解力とリンクす

るんですけどやはりリーディングリテラシーの中身は情報を比較して文脈から考えるとか
そういうことが全般的に弱いと言われているんですが、そういうことで考えると理科のよ
うなところで、大日本図書、のようにですね直接的な言葉で出すのはあんまり好きではな
いということを申し上げたんですけれども、中身としてはそういうものを十分取り入れら
れているということで他の教科書、例えば教育出版ですか、そういうところも取り入れら
れてはおりますし、それから啓林館さんというところでもやはりそういう科学的な見方を
養っていくという意味では取り挙げられていますけれども、やはり学校の先生方が調べら
れた結果をみますと、私は大日本図書が良いのではないかと思います。

(船津委員)

ありがとうございました。今お使いになっているということもありますが、先生方が指
導しやすいってすごく大事だと思っていて、理科嫌いになるって中学校のこのタイミン
グで、こっから理科を好きになっていくとか理科嫌いになっていくとか、小学校のときだ
と身の回りのことを観察していったところから理科を理論的にとか理論的なところ
も含めて好きになる、嫌いになるってこのタイミングで高校になると受験になってくる
と思うので、すごく大事だと思いましたので、図表であつたりとかどんなものが入ってわ
かりやすい、だけど、子ども騙しじゃないことも大事かなというふうに拝見してきました。

そういう点で見ると、やっぱり大日本図書さんがバランスが良いなと思ったんですけ
ど私は啓林館さんも先生方の学習の仕方への支援というところでは啓林館が高いんですよ。
付いているものとか、そこをどう活かしていくとか色々後ろのほうも、巻末も付いて、
自分でやってみようかなと思うきっかけというのは啓林館さんがいいかなというふうには
思いました。でも全体的にいうと大日本図書さんかなというふうに思いました。以上です。

(鈴木教育長)

他にはいかかでしょうか。

(小栗委員)

説明ありがとうございました。

どの教科書も素晴らしいと思いますけども、一点ちょっと気になったのが、サイズが全
部一緒じゃないんですが、東京書籍がちょっと縦長になっていて情報量がですね、見たと
き横開きの方が、見やすいかなという印象は受けました。東京書籍がちょっと縦長になっ
ているので。

(小嶋委員)

本当にどの教科書も工夫がされていて素晴らしいと思ったんですが、やはり圧倒的にこ

の先生方の各学校の研究報告書でみますと大日本図書が圧倒的に評価が高いということで、大日本図書でよろしいのではないかと私は思います。

(鎌田委員)

説明ありがとうございました。私も大日本図書がいいと思います。今使われているということだけではなくて、そして先生方の支持が圧倒的だということだけではなくて、先ほども他の委員の方からもご指摘ありましたけれども、読解力問題というような形でまとめられておりまして、頭の整理にも非常に良いのではないかと私は思いました。以上です。

(鈴木教育長)

ありがとうございます。

様々ご意見をいただきましたけども、皆さまいずれも大日本図書の教科書がよいとのこと意見でございます。

令和３年度使用中学校用教科用図書「理科」については、「大日本図書」を採択するということよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

続いて、「美術」の説明をお願いいたします。

(原指導主事)

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてあります。その美術科のページをご覧ください。美術科の教科書は、「開隆堂」、「光村図書」、「日本文教出版」の３者から発行され、その全てについて調査研究をいたしました。資料②調査専門委員会報告書をご覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆すべきものについて報告させていただきます。

調査専門委員会報告書１枚目をご覧ください。

観点１「学習指導要領との関連」については、「開隆堂」と「日本文教出版」が、新しい学習指導要領に示された共通する資質・能力の３つの柱を、学習の目標として示しています。「日本文教出版」は、１年８ページにあるように、美術科の特性を踏まえ、整理された

3 観点の目標により、生徒が学習を深められるように、工夫されています。

観点2「「名古屋市教育振興基本計画」との関連」についてです。名古屋の美術文化については、各者とも数点ずつ掲載しています。特に「開隆堂」は2・3年の2ページから4ページに、大きく見開きで「名古屋城本丸御殿復元プロジェクト」が取り上げられており、生徒が、郷土に愛着や誇りをもてる内容になっています。また、「日本文教出版」1年16ページ「なぜか気になる風景」のように、自分の考えを追究し主題を生み出すことで、自ら考え、判断し、表現するなど、幅広い学力を育成する内容が盛り込まれています。

観点3の(1)「内容の選択」では、3者とも、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の内容が、バランスよく取り上げられています。また、3者とも、カリキュラム・マネジメントの充実が図れるよう配慮されています。特に「開隆堂」は、2・3年63ページのように、SDGsの考え方をふまえて、デザインについて学べる内容が選択されています。

観点3の(2)「内容の程度」では、3者共に、内容が発達の段階に応じて系統的に配列されています。

観点3の(3)「内容の構成」では、「開隆堂」と「光村図書」は、1年生と2・3年生の2巻構成となっています。「日本文教出版」は、学習指導要領の趣旨を生かし、各学年の発達段階を考慮して1年と2・3年上、2・3年下の3巻構成になっています。

観点4「表記・表現及び使用上の便宜等」では、3者とも色やフォントにユニバーサルデザインを生かしています。「開隆堂」は「1年」63ページの色彩の学習に用いる彩度の例示図において、色覚に多様性のあるすべての生徒が見やすいように、黄系統の図が用いられています。図版については、3者共に、実物大のものを掲載しています。「日本文教出版」は、2・3年下26ページの見開きにおいて、左側に作品全体の図版を、右側に実物大の図版をのせてあります。また、とじ込みを開いた「ゲルニカ」の図には、人のシルエットを配置しています。それらによって、細部や大きさを直感的にとらえることができるような工夫がされています。

観点5「印刷・造本等」は、3者とも、光沢のある紙質で、堅牢な造りになっています。特筆すべきは、「光村図書」2・3年11ページのように、トレーシングペーパーをとじ込み、図版の上から補助線を引くことができるように工夫されています。

次に、2枚目の調査専門委員会報告書をご覧ください。

事項1「育みたい資質・能力が整理され、わかりやすく示されているか」についてです。3者それぞれ主体的・対話的な学びを目指して編集されています。「開隆堂」は、「1年」8ページ「絵や彫刻で学ぶこと」のように、領域ごとに学習の意味が伝わる扉ページを設けることで、主体的な学びを促しています。「光村図書」は、「1年」8ページ「教科書を活用しよう」において、実際の授業の流れと教科書の構成を伝えることで、自分なりの見通しをもって学習に取り組めるよう、配慮されています。「日本文教出版」は、「1年」8ページ「この教科書で学ぶ皆さんへ」において教科書の見方や使い方を示し、生徒が主体的に学

習できるよう配慮されています。

事項 2「生徒が生活や社会の中で、造形を豊かに捉える多様な視点がもてるようになっているか」については、3 者とも、身近な生活の中の造形に関心を向けられる内容になっています。

事項 3 の「生徒が造形的な見方・考え方を働かせることができる内容になっているか」については、3 者とも生徒が造形的な見方や考え方を働かせ、美術科に関する学びの本質に迫ることができるようになっています。

なお、美術の教科書に対しまして、「市民の声」として、1 通のご意見をいただきましたことを、お伝えさせていただきます。

以上、美術科について、報告させていただきました。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「美術」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(小嶋委員)

本当にこの 3 者とも創意工夫があって読んでいてとても楽しい教科書だと思ったんですが、私は光村図書がこの子どもたちの自主的な学びを促すうえでとてもいいのではないかと、読みものとしてもこれを見ていてとても楽しいですし、色々なこう発想が湧いてくると思いますか、というような気がいたしました。ただ、少し文章が多いということが子どもによっては少し好き嫌いが分かれるのかなということが気になったというか、そういう点でいくと日本文教出版のほうもより直観的というか、この写真や絵を見て、だいたい内容が何をしたらわかるというような点が特徴的なのかなと思いました。どちらがいいというのは決められないのですが、他の先生方いかがでしょうか。

(鈴木教育長)

他にいかがでしょうか。

(小栗委員)

ありがとうございました。今小嶋委員がおっしゃったように、どれも甲乙つけがたいと思いますが、感性だけでいうならばですね、今回この開隆堂さんの写真がすごく私は鮮やかでとてもきれいだなと感じました、一方で、文教出版さんだけが三冊になっているということで教える側にとって、二冊、三冊、前回も二冊、三冊あったと思うのですが、美術の時間と内容について実際に教えた経験がある西淵さんにお尋ねしたいと思います。

もしくは学校の先生、実際に教えている側として、何か意見をいただきたいと思うのですが。

(原指導主事)

ありがとうございます。美術の授業は1年生が年間45時間、2年生35時間、3年生35時間ということで三分冊に分けて発達段階に応じた学びを育成するという意味では三分冊というのはたいへん使いやすいというような印象をもっていると現場の先生がたから伺っております。

(船津委員)

ありがとうございます。いいなと思うのは、開隆堂さん、先ほど小栗委員おっしゃったみたいな非常にビビット、鮮やかだということと、名古屋城をすごく取り上げてくださっているのも、非常にうれしいなとか、美術が非常に身近だになっていう点はインパクトがありました。先ほどの調査報告書のご説明にもあったんですけども、美術って出会いかなって、学ぶことで美術嫌いになるっていうタイミングも中学校かなって手を動かすことよりも見ていくっていうことになっていくので、良い教材から日本文教出版さんは学ぶっていうことをあまり使われずに、出会いっていうフレーズが多いかなと思います。光村さんと開隆堂さんはここで何を学ぶか、美術で何を学ぶかということなので、学ぶより見たいしというところが少し、美術嫌いといったら変ですけど、学びの中に美術が入ってきているという点が非常スムーズだったのが日本文教出版さんかなと思いました。

それと先ほど先生から話がありましたが、1年間の間にこの中のものを十分に見ると、ということで次のものをみていく、分かれていることでこの中のものをじっくり見ることができるという点でいうと、分冊が三冊の方が私は見る側の生徒からすると二冊で長いことみて飽きてくって言ったら変ですけど、たくさんものを見なきゃいけないっていうよりは一つ一つじっくり見られる三分冊の方が適しているのではないかなというふうには感じました。以上です。

(西淵委員)

すみません。美術を持ったことが無いので、すみません。

ただやはり中学生になると非常に技術的なものも高くなってくるということで良い物を見せてですね、そして描かせてあげたいなということは素朴に思うわけです。そういうことから考えると皆さまが言っているように、分冊で大きくなっているようなものの方が良いのではないかと思います。

それから名古屋市美術館のフェルメールをですね、そういうものを大きく扉絵で扱って、本物が見れるんじゃないかな、それから本丸御殿も各者取り上げていただいておりますけ

ども大きく取り上げていただいて、非常に日本文教出版さんの学校がおっしゃられているような教科書が望ましいのではないかと思います。

(船津委員)

これって採択された教科書以外も美術の先生方はご覧になれる、今もご覧になられているわけですね、各学校ごとに。

お願いごとがあって、やはりどれも甲乙つけがたいところがあって学びに繋がる工夫があるので、生徒はそれしか持ちませんけども、美術の世界は広がっていくと思いますので、他の教科書にあるヒントみたいなものを先生が授業の中に活かしていただけることを強く望みます。

(鎌田委員)

これはどれも大変工夫がされてまして素晴らしいと思いました。結論としましては、私は日本文教出版の教科書を推したいと思います。やはり現場の先生方がこれを使いたいという声が大きくて、専門委員の方もその評価が高いということからいきまして、現行もこの日本文教出版ですけれどもこれを継続していただければと思います。以上です。

(鈴木教育長)

ありがとうございました。いずれも日本文教出版の教科書が良いのではないかとのご意見をいただいております。

ということで、令和3年度使用中学校用教科用図書「美術」については、「日本文教出版」を採択するというところでよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

続いて、「保健体育」の説明をお願いいたします。

(樫山指導主事)

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてあります。その保健体育のページをご覧ください。保健体育の教科書は、「東京書籍」、「大日本図

書」、「大修館」、「学研教育みらい」の4者から発行され、その全てについて調査研究をいたしました。資料②調査専門委員会報告書をご覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆すべきものについて報告させていただきます。

観点1「学習指導要領との関連」では、「大日本図書」の4・5ページをご覧ください。健康・安全について理解し、基本的な技能が身につくよう、「つかもう」などの活動を設定し、課題を解決しながら学習を進めることができるように配慮されています。「大修館」の10、11ページをご覧ください。「課題をつかむ」から始まり「学習のまとめ」のシンプルな3ステップで構成され、学習の流れの中に導入における発問の例や生徒が思考・表現しやすくなるような例を入れることで理解しやすいよう工夫されています。

観点2 「「名古屋市教育振興基本計画」との関連」では、「大日本図書」の口絵16ページをご覧ください。QRコードでつなぐウェブコンテンツで、ICTを活用し、個の興味・関心に応じて学習を進めることができるよう工夫されています。

観点3 (1)「内容の選択」では、「東京書籍」の6・7ページをご覧ください。読み物などの今日的な課題に関わる豊富な資料で、学習意欲を高めたり、より深く考えたりすることができるように工夫されています。「大修館」の54・55ページの「クローズアップ」をご覧ください。社会や生活との関わりの中で学んだことの意義を実感し、意欲を高めることができるよう内容を選択しています。

観点3 (2)「内容の程度」では、「大日本図書」の44ページをご覧ください。「ミニ知識」や「発展」によって個に応じて学習内容を深めることができるように配慮されています。

「学研教育みらい」の25ページをご覧ください。章のまとめとして、自己評価ができるとともに、キーワードがページ数とともに示されており、確実に基礎・基本が定着できるよう工夫されています。

観点4「表記・表現及び使用上の便宜等」では、「東京書籍」の1ページをご覧ください。Dマークコンテンツ内容一覧が示されており、インターネットを使った学習がしやすい構成になっています。

次に、「学研教育みらい」の15ページをご覧ください。各章の最初に「ひと」が設けられています。また、16・17ページをご覧ください。各ページの下に「情報サプリ」が設けられています。この「ひと」と「情報サプリ」により、生徒の学びに向かう力を高められるよう工夫されています。

次に、2枚目の報告書をご覧ください。

事項1「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた対応がされているか」では、「大日本図書」の87ページをご覧ください。「学びを活かそう」で友達との対話を通して、思考を広げ深めていくことができるよう工夫されています。次に、「学研教育みらい」の102ページをご覧ください。「探究しようよ！」で課題の例や学習の仕方を示すことによって、知識や情報を基に、グループなどで意見を交わし、主体的に課題解決的な学習に取り組めるよ

う工夫されています。

事項2「他教科や体育分野、保健分野の関連が図られているか」では、「大修館」の62・63ページをご覧ください。「クローズアップ」として、体力を高める要素ごとに、体づくり運動の例がイラストで示されています。

事項3「心身の機能の発展と心の健康について課題を発見し、解決を目指す活動が行えるようになっているか」では、「東京書籍」の28・29ページをご覧ください。「資料1から4」と「活用する」を設けることで、課題を発見し、解決を目指す活動ができるよう工夫されています。

なお、保健体育の教科書に対しまして、「市民の声」として、12通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「保健体育」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(小嶋委員)

本当にどれもよく考えられている教科書なんですが、保健体育では教科用図書調査専門委員の先生方の評価が大日本図書が圧倒的で、拝見しましても確かにわかりやすく、子どもたちも読みやすく先生も教えやすい章立てになっているというような印象を受けましたので、大日本図書でよいのではないかというふうに思います。

(鈴木教育長)

他にいかがでしょうか。

(西淵委員)

私も異議はございません。ただ、今、非常にコロナの問題があれなんですけど、感染症の扱い、小嶋委員がご専門でもあるので、あれですけども、扱いとしてページ数はですね、大修館が一番、2ページ多いんですね、今後は中身は多分こういう違うことで感染症予防教育をしていかなければいけないような状況も出てくるんだろうというふうに思うものですから、そういうものは補っていかないといけないな、というふうに思います。

それからAEDの扱いを伺いたいのですが、AEDというのは実習的なものでやるようにどの教科書も書いてあるわけですかね、そこをちょっとだけ比較して教えてください。

(樺山指導主事)

今回学習指導要領で保健の中で、技能ということで1年生の「健康な生活と疾病の予防」

でリラクセーション、それから「傷害の防止」ということで2年生で心肺蘇生あとは直接圧迫方、包帯方などが技能として保健の中に入ってきております、各教科書ともそちらの新しい技能ということでわかりやすく書かれていると聞いております。

(西淵委員)

きちんと入っているということですね。

だったら皆さん、学校の方が推している教科書が最終的に望ましいのではないかと思います。以上です。

(鈴木教育長)

よろしいでしょうか。

(鈴木教育長)

他にご意見もないようでございます。

大日本図書の教科書を推す声をいただいておりますので、令和3年度使用中学校用教科用図書「保健体育」については、「大日本図書」を採択するということでよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

続いて、「技術・家庭（技術分野）」の説明をお願いいたします。

(伊藤指導主事)

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてあります。その技術のページをご覧ください。技術の教科書は、「東京書籍」、「教育図書」、「開隆堂」の3者から発行され、その全てについて調査研究をいたしました。

資料②調査専門委員会報告書をご覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆すべきものについて報告させていただきます。

観点1「学習指導要領との関連」においては、3者とも「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生

活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する」ように編集されています。「東京書籍」では、2 ページの「技術分野の学習方法」のように、主体的で、対話的な学習につながる学習方法について掲載しています。

観点 2「名古屋市教育振興基本計画との関連」においては、3 者とも技術の発展等生活との関わりを示し、開発者や技術に関わる人を紹介して、職業観、勤労観の育成を図り、キャリア教育につなげています。「教育図書」では、21 ページのように「技ビト」で、専門的に学んでいる職人として、木工作家について取り上げ紹介しています。「開隆堂」では、P25 のように、「探究」で、開発者の声として収納や持ち運びが便利なイスの製作者について取り上げ、紹介しています。

観点 3 (1)「内容の選択」においては、3 者とも多くの題材例を示すことで、実践的・体験的な学習活動により、主体的な問題解決に取り組めるように工夫されています。

観点 3 (2)「内容の程度」においては、3 者とも、生活の中から課題解決を行う多くの題材例を示しており、生徒の生活実態に即しています。「東京書籍」では、156 ページの「資料」新幹線の技術のように生徒の興味関心に対応した内容となっています。「開隆堂」では 156 ページの「参考」子どもの目の発達に配慮した LED 照明のように、持続可能な社会の構築に向けた現代の社会生活や科学技術の進歩に対応するように配慮されています。

観点 3 (3)「内容の構成」においては、3 者とも、「リンク」マークなどの関連を示すマークを用いて、他教科や小学校と関連づけながら学習が進められるように編集されています。「東京書籍」では、26 ページ「技術のとびら」金属の特性についてのように、科学的根拠に基づいた学習が進められるように工夫されています。「開隆堂」では、56 ページからの実習例のように、生徒の関心や学校、地域の実態に応じた弾力的な指導計画づくりに対応できるよう工夫されています。

観点 4「表記・表現及び使用上の便宜等」においては、3 者とも、巻頭において、「作業の安全」を示し、実習等における安全面について、適切に配慮されています。また、3 者とも QR コードによって、デジタルコンテンツにアクセスできるようになっています。「東京書籍」では、巻末 4 ページのように本文に対応する「D マークコンテンツ一覧」としてまとめて掲載し、技能習得や作業方法、知識理解及び他教科との関連内容についても確認できるようになっています。

次に、技術科で特に調査を要する事項について報告いたします。資料②調査専門委員会報告書の技術の 2 枚目をご覧ください。

事項 1「技術の見方・考え方をふまえた内容になっているか」については、「教育図書」では、1 ページの目次の下にあるマークで示して、「技術の見方・考え方」に気付くことができるように工夫されています。「開隆堂」では、14 ページガイダンスで「技術の見方・考え方」を示しており、関連するところには「リンク」マークで示し、学習の際に意識できるようになっています。また、3 者とも各編の最後の章において、技術の最適化について学

習を深められる内容となっています。

事項2「小学校・高等学校の学習内容との系統性がふまえられているか」については、3者とも、小学校の学習内容をふまえており、学習者が意識しやすいようになっています。小学校で本年度より導入されているプログラミングについても、3者とも小学校で行うビジュアル型プログラミングから、高等学校の内容につながる言語型のプログラミングが学習できるよう工夫されています。「東京書籍」では、258ページのようにプログラミングに関して、小学校から中学校の学習がどのようにつながっていくかを示しています。

事項3「生活や社会に関する問題を解決する内容になっているか」については、3者とも、生徒自らが主体的に課題解決に取り組むことができるよう、生活の中から課題を見付け、課題解決が図れるようになっています。

なお、技術の教科書に対しまして、「市民の声」は特にご意見をいただきませんでしたこととお伝えさせていただきます。

以上、技術科について、報告させていただきました。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「技術・家庭（技術分野）」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(西淵委員)

本当にやはりどの教科書も非常によくできているなど全体的な感想をもちますけれども、非常にこれから技術分野ですね、学習指導要領にも書いてあると思うのですが、大事になってくるのは情報モラルではないかなと思っております。中でも知的財産保護、これ総務省とかですね、そういうところも一生懸命人材育成のプログラムを組んでですね、やってきていると思うんですけど、比較しますと開隆堂さんちょっと弱いかなと思いましたけれども、教育図書と東京書籍がですね、東京書籍は206ページからですか、教育図書は200ページからですね、きちんと知的財産保護ってどういうことなのかっていうことですね、具体的にこう指導場面が非常にわかりやすいということで、同じところを比較してみるとですね、やはりわかりやすさという点は東京書籍ですね、学校の先生方も推してみえると思いますけれども、そこが良いのではないかなというふうに感想を持ちました。以上です。

(小嶋委員)

どの教科書も大変工夫されていて、その教育指導要領にあることに関してもきっちり抑えてあるというふうに思うんですけども、私は東京書籍の先生方の評価も大変高いのですが、特に素晴らしいと思ったのは、2、3ページの技術分野の学習方法として、こういった考えのアイデアのまとめ方っていうもの、思考ツールの中ではブレインストーミン

グとK J法、フィールドワーク、まとめと発表の仕方、これはものすごく子どもたちに教
えたいこととおそらく小学校で総合学習でやってきたことで中学校では各教科で取り入れ
ていることだと思うんですが、この技術分野の学習方法としてとてもわかりやすい形で、
ここの2、3 ページで納めているって素晴らしいと思います。なのでぜひこの東京書籍の技
術の教科書を採用していただきたいと思います。

(鈴木教育長)

他よろしいでしょうか。

(鈴木教育長)

今、西淵委員、小嶋委員双方から東京書籍の教科書を推す声をいただいております。

調査研究報告書の中でも東京書籍が特に優れている点が多いということで評価されてお
ります。ということで、令和3年度使用中学校用教科用図書「技術・家庭（技術分野）」に
ついては、「東京書籍」を採択するというところでよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

続いて、「技術・家庭（家庭分野）」の説明をお願いいたします。

(熊谷指導主事)

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてありま
す。その家庭のページをご覧ください。家庭分野の教科書は、「東京書籍」、「教育図書」、
「開隆堂」の3者から発行されております。その全てについて、全中学校と調査専門委員
会で調査研究をいたしました。

資料②調査専門委員会報告書をご覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆
すべきものについて報告させていただきます。

1枚目にありますように観点1「学習指導要領との関連」においては、3者とも生活の営
みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、生活を工夫し、想像
することができるように構成されています。「東京書籍」の20ページ下をご覧ください。
生活の営みに係る見方・考え方の例として、4つのマークで視点を表し、マークを参考にし

て、問題解決学習に取り組めるように工夫されています。このような表記が各編の導入でされています。「教育図書」の 25 ページをご覧ください。身につけた知識・技能を生かして、課題解決学習に取り組めるよう「課題設定のヒント」を示し生徒が自分の課題を設定する手助けとしています。

観点 2「名古屋市教育振興基本計画との関連」においては、「東京書籍」の 113 ページをご覧ください。地域に伝わる衣食住の衣の文化例として「有松鳴海絞り」が紹介され、生活の中で郷土の伝統文化に親しむことができるよう配慮されています。「開隆堂」の 66 ページをご覧ください。「先輩からのエール」というコーナーで学習内容に関連した職業に就いている方の仕事への思いや生徒へのメッセージを質問形式で読みやすく紹介し、キャリア教育につなげています。

観点 3 (1)「内容の選択」においては、「教育図書」251 ページをご覧ください。多様化するキャッシュレス決済の例を取り上げております。同じく、「教育図書」の 185 ページをご覧ください。右下の資料のコーナーで「非常時の衣生活」として、災害時の対策を紹介しています。このように、非常時や社会の変化にも対応できる力を育む教材が選択されています。

観点 3 (3)「内容の構成」においては、3 者とも、基礎的・基本的な知識を身につけ、実践的・体験的に学習を進められるように配慮がされています。「東京書籍」の 142 から 149 ページをご覧ください。ページ上部に難易度を示した実習例が数多く紹介され、学校や地域の状況に応じて弾力的に計画ができるよう工夫がされています。

観点 4「表記・表現及び使用上の便宜等」では、3 者とも学習を補う動画や関連ページを参照できる QR コードを掲載し、効果的に学習できる工夫がされています。「開隆堂」の 121 ページをご覧ください。調理や製作の手順を横の流れで写真や図を使用して説明した実習例を多く掲載しています。また、材料と分量の表記では、アレルギー物質の材料には、黄色のマーカー色を付けて分かりやすく示し、安全面に配慮がされています。

報告書 2 枚目をご覧ください。

事項 1「小学校家庭科の学習や他教科との関連を取り上げ、系統的に学習できるよう工夫がされているか」については、「東京書籍」106 ページをご覧ください。各題材の初めに小学校から中学校の学習へのつながりが一目で分かるように工夫されていて、小学校での学習をふり返りやすくなっています。また、同じく「東京書籍」巻末の 4 ページをご覧ください。「他教科などとのつながり」の特集ページとなっており、家庭分野の学習が、技術分野や他教科と広くつながっていることが分かるように工夫されています。

事項 2「日本の生活文化に関する学習活動の充実がはかられているか」については、「開隆堂」144 から 145 ページをご覧ください。行事食の雑煮や手打ちうどんの作り方が示されており、生徒の興味・関心の幅が広がる工夫がされています。

事項 3「消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容の充実が図

られているか」については、「教育図書」272 から 273 ページをご覧ください。消費者の声を企業に届ける方法や、「消費者の声で変わった商品の例」を掲載し、商品に自分の意見を反映させる事例を紹介することで、主体的な消費者としての基礎を学べるように工夫がされています。

最後に、家庭分野の教科書に対する「市民の声」として、3 通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。

以上です。ご検討よろしくお願いします。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「技術・家庭 家庭分野」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(小嶋委員)

どの教科書も素晴らしいのですが、さきほど技術を東京書籍で採用しましたので、やはり技術家庭という総合的な面があるのではないかなと思うのですが、その点いかがでしょうか。質問です。

(熊谷指導主事)

家庭科と技術は違う担当の者が授業を行うことが多いかと思われますので、必ずしも同じ教科書を使用しなければいけないということはないのかなと思いますが、教材の配列の仕方とか、色々提示の仕方とかが似ていると確かに子どもたちは使いやすい部分があるところが、同じ教科書を使う長所としてあると思います。

(船津委員)

ということであれば私は東京書籍さんで、技術と家庭はそろっている方が生徒が読み物としての全体のバランスもありますし、つなげて考えやすいので良いのではないかと思います。

あとは余談になってしまうのかもしれませんが、東京書籍さんはパラパラ漫画が入っていて分厚いもので、生活のことでなんか興味を持ちづらい中にめくってみようよみたいな感じで、これを好きになって欲しいというメッセージみたいなものを感じていいかなと、開隆堂さんですと上の方にマークとか色々入っているんですけども、そこに何が入って、ここに何が入っているのかはちょっとわからなかったりとかしたので、見たときにとっつきやすいなと思って東京書籍さんがいいんじゃないかなと思いました。

(鈴木教育長)

よろしいでしょうか。

(鈴木教育長)

東京書籍の教科書を推す声をいただいております。他にご意見ないようでございます。

令和3年度使用中学校用教科用図書「技術・家庭 家庭分野」については、「東京書籍」を採択するということによろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

続いて、「英語」の説明をお願いいたします。

(鈴木指導主事)

各中学校の調査研究協議会報告書の傾向を、黄色横長ファイル資料③にまとめてあります。その英語のページを御覧ください。英語の教科書は、「東京書籍」、「開隆堂」、「三省堂」、「教育出版」、「光村図書」、「啓林館」の6者から発行され、その全てについて調査研究をいたしました。では、資料②調査専門委員会報告書を御覧ください。各者の観点別の特徴や長所のうち、特筆すべきものについて報告させていただきます。

報告書1枚目の観点1「学習指導要領との関連」についてです。6者とも、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能5領域を網羅した言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することができるよう編集されています。

観点2「名古屋市教育振興基本計画との関連」についてです。特筆すべきものとして、「東京書籍」の1年生98・99ページ「Let's Read 1」では、世界遺産である富士山を取り上げるなど、自国の伝統や文化、自然への理解を深め、グローバル人材を育成するよう配慮されています。また、「啓林館」1年生110、111ページにある日本のマンガ文化の紹介のように、海外に広まっている自国の文化理解を深め、グローバル人材を育成するよう配慮されています。

観点3(1)「内容の選択」についてです。特筆すべきものとして、「東京書籍」1年生64

ページ「Let's Talk① お願い」のように、日常の会話の場面と言語の働きに配慮した題材が選択されています。「開隆堂」1年生 69 ページ「PROGRAM 6」では、ケニアに住む兄妹の話題のように、現代的で国際的な題材が選択されています。「三省堂」1年生 113 ページでは、障害者スポーツなど今日的な多様な題材が扱われています。

観点 3 (2)「内容の程度」についてです。6 者とも小学校外国語で学習した単語や表現を振り返ることから始まり、平易な表現から難しい表現へと段階的に高める工夫がされています。

観点 3 (3)「内容の構成」についてです。特筆すべきものとして、「東京書籍」1年生 54、55 ページをご覧ください。この「Stage Activity 1」は各学期に 1 回、それまでの単元で既に学習した内容を活用する言語活動を行う単元です。そして右ページ下の指示で、巻末の「学習を振り返ろう —CAN-DO リスト—」において振り返りができるようになっています。「開隆堂」1年生 47 ページ「Our Project 1」をご覧ください。まず 48・49 ページにおいて自己紹介スピーチのモデル文の学習をします。50・51 ページで、自分のことについてマッピングの作成から即興スピーチ、原稿を書くといった、より完成度の高いスピーチへとスムーズに活動が進められるようになっています。

観点 4「表記・表現及び使用上の便宜」においては、6 者とも、写真やイラストを効果的に用い、2 次元コードを読み取ることにより家庭でも I C T 機器等を活用して学習を進めるための工夫がされています。特筆すべきものとして、「東京書籍」12 ページの下の欄外をご覧ください。小学校で学習した単語を掲載し、習っていない語句との区別ができるようにするとともに、家庭で復習できるようにも配慮されています。「開隆堂」1年生 104 ページ「Scenes」をご覧ください。2 コマ漫画において、新出の表現を太字で示しながら、会話内容が一目で分かるように配慮されています。

観点 5「印刷・造本等」においては、6 者とも 1 年間の使用に耐えうるよう堅牢に造本されています。特筆すべきものとして、「教育出版」1年生 69 ページでは、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法が工夫されています。「光村図書」1年生 32 ページをご覧ください。入門期である 1 年生では、書体や文字の大きさや、ページ全体のレイアウト等を工夫し、ユニバーサルデザイン化が図られています。

続きまして、報告書の 2 枚目を御覧ください。

事項 1「5 領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力が育成されるよう工夫されているか」においては、6 者とも十分な配慮がなされた編集となっています。例として、「教育出版」1年生巻頭の 1 ページ見開き「この教科書で英語を学ぶ皆さんへ」をご覧ください。こちらには Lesson で使用場面を通して言語材料や言語の働きを理解し、Tips で 5 領域の言語活動で運用するコツを身に付け、Project で統合的に活用できるよう構成されていることを示しています。

事項 2「簡単な情報や考えを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーション

ンを図る資質・能力の育成が図られているか」についてです。例として、「東京書籍」では、1年生 56 ページ「Small Talk!①」で、小学校の外国語活動や外国語科でも取り組んできた「Small Talk」に継続的に取り組み、即興で話す活動が工夫されており、系統的に発信できるよう工夫されています。「開隆堂」では、1年生 Progam9、109 ページにおいて、Retell を設定し、写真や絵を見て即興的に発表ややり取りができるようになっています。また、「光村図書」では、各 unit に 92・93 ページのような「Goal」や 100・101 ページのような You Can Do It! を設定し、自分の考えを伝えるとともに、協働しながら発表する活動が設定されています。

事項 3「言語材料と言語活動とが効果的に関連づけられているか」においては、6 者とも、言語活動が充実した編集となっています。例として、「三省堂」1 年生 63 ページの「Take Action! Talk 1」では、目的・場面・状況に応じて即興で伝えることができるよう工夫されています。「啓林館」では、85 ページ下方にございます、Use の部分において、「話すこと」、「やりとり」と「書くこと」の活動を行い、91 から 93 ページにわたって設定されている Project において、その他「読むこと」を取り入れるなどして、複数技能を統合的に活用する言語活動を行えるよう工夫されています。

なお、英語の教科書に対しまして、「市民の声」として、15 通のご意見をいただきましたことをお伝えさせていただきます。以上です。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、「英語」の採択に関する審議に入ります。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(西淵委員)

ありがとうございました。確か小学校で東京書籍を採択したと思いますけども、色々議論をして初めての英語科導入ということで、小学校で採用したと思いますけども、そういう意味からすると、さきほど分野の話もありましたけれども、今回、例えばロゴとかマーク、そういうものだとか、言い方ですとか、小学校からの連続性ということから考えると、東京書籍が良いのではないかと思いますし、学校の皆さまもそういうような傾向で推してみえると思います。今度、この間採択した子がこの教科書で英語を学び、そして中学校に入ってくるというふうに 1 年後なると思いますので、東京書籍にかけてみたいというふうに私は思います。

(小嶋委員)

私も西淵委員と同意見なんですが、また、特にこの東京書籍の資料のワードリストがとても見やすいなというふうに思っておりまして、教科書そのものも大事だと思うのですが、

このワードリストで勉強する点も多いと思うので、そういった点でも東京書籍がいいと思いました。

(小栗委員)

報告書の4番の表記表現使用上の便宜のところでは東京書籍が小学校で学習した単語が下の段に書いてあるということがありまして、それが非常に評価をされている反面ですね、逆に他の教科書にもそういったところを書いてない理由がなにかあるのかとか素直に考えればですね、その小学校の単語が出てくることがわかりやすく作ってある反面ですね、それ以外のところがそういったところが見逃しているかもしれませんが、逆にQRコードでカバーしている違いのところはどう考えたらいいのでしょうか。

(鈴木指導主事)

他の会社につきましても、単語だけではなく、趣意書等には小中の学びをスムーズに接続するレッスン構成等はされております。今回そちらの報告書の方には語彙について小学校マークがついていたりといったところが挙げられているというふうに聞いております。以上です。

(小栗委員)

教科書については、私、東京書籍が良いんじゃないかなと思ってますが、ちょっと質問してもよろしいでしょうか。英語について大変興味があるので、ちょっと質問させていただきたいと思います。教育委員会でシンガポールとかマレーシアとかそれからカルフォルニアとか、色んなところと姉妹提携をしまして英語の考え方も先ほどおっしゃったように小学校から学んでいくと、本市としてどこに重点を置いて、もしくはどのような英語を今回新しい教科書にすることによって変えていきたい。もしくはこうしたいという強い思いをお聞かせいただきたいのですが。

(鈴木指導主事)

今回の学習指導要領におきましては、今までもそうだったんですけども、4機能、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の機能を総合的に育成することが求められておりました。今回の新しい指導要領におきましては、4機能のうちの話すことが「やりとり」、それから「発表」の二つ分けて、5領域として、領域別に目標を設定しております。この5領域が世界基準である「cefer」に共通しておりますので、そのような話すことのやり取り、それから発表、そういったところを今後伸ばしていくことで指導要領に則って、より力を発揮できるようにしていくことが大事かと聞いております。

(鈴木教育長)

ありがとうございます。

他にご意見もないようでございます。

東京書籍の教科書を推す声をいただいております。

令和３年度使用中学校用教科用図書「英語」については、「東京書籍」を採択するという
ことでよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

これにて、日程第１「令和３年度使用教科用図書の採択について」を終了いたします。
残りの種目につきましては、７月２９日に予定しております臨時会にて採択を行いたいと思
います。

また、傍聴の方も含め、ここにおられるすべての皆様に再度お願いいたします。令和３年
度使用教科用図書の採択に関しましては、愛知県の指導により、採択結果は８月３１日まで
非公開となっております。採択などに関わる会議録、資料等につきましても、同様の取扱
いとなりますので、その旨ご理解の上、本日知り得た内容につきましては、ご配慮いた
だきますよう、お願いをいたします。

(鈴木教育長)

これにて本日の案件はすべて終了いたしました。

教育委員会臨時会を終了いたします。

午後３時１８分終了